

第73回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和3年5月25日(火) 9:38~10:02	場所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、天野企画財政部長、加藤総務部長、西田市民部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、高橋庁舎建設等担当部長、大澤子ども家庭部長、梅原企画政策課長、宮奈地域安全課長、穂山地域安全係長、石原新型コロナウイルス感染症対策担当課長			
付議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症 小金井市緊急対応方針(第6弾) 2 令和3年第2回小金井市議会定例会予算における新型コロナウイルス感染症対策について 3 ワクチン接種について 4 各部連絡事項 			
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症 小金井市緊急対応方針(第6弾)(案) ・令和3年第2回小金井市議会定例会予算における新型コロナウイルス感染症対策について ・新型コロナウイルスワクチン接種に対する緊急要望(第二弾)【公明党】 ・新型コロナ対策並びにワクチン接種に関する要望書【自由民主党】 			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染者数は一時的には減少傾向にあるが、依然として最高レベルの水準にあり、変異株の感染拡大もあり、予断を許さない状況にある。 ・緊急事態宣言の解除については、現時点では明確なものはないが、再延長の可能性もある。 ・市内の感染者数累計は900人を超え、5月1日時点の人口割合では138人に1人が感染したことになる。 ・ワクチン接種については、医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション等の方々にご尽力いただきながら進めており、たいへん感謝している。 ・医療従事者で2回目の接種を終えた人が2,361名にのぼり、全医療従事者の64%が終えたことになる。 ・市内の総接種件数は14,870件になり、総接種人数は11,542名になった。 ・高齢者の接種は8,525名となり、1回目の接種を終えた高齢者は、高齢者全体の約30%になる。 ・6月1日から予約枠を一定数広げることから、高齢者の接種が一層進展するものと考えている。 ・一般フェーズについては、まだ国からスケジュールが示されていないが、情報収集等に努め、遅滞なく進めてほしい。 ・小金井市緊急対応方針(第6弾)は5月27日の総務企画委員会の後、掲載予定。 				

1 新型コロナウイルス感染症 小金井市緊急対応方針（第6弾）について

（企画政策課長）

- ・5月27日以降、掲載する予定である。内容については理事者一任とさせていただきたい。

2 令和3年第2回小金井市議会定例会予算における新型コロナウイルス感染症対策について

（財政課長）

- ・内容については資料のとおりである。何かあれば連絡いただきたい。

3 ワクチン接種について

（新型コロナウイルス感染症担当課長、以下「コロナ担当課長」という。）

- ・緑センターでの集団接種は5月12日～22日の間で4日実施し、水曜日は終日、土曜日は午後からの接種である。

・緑センターの接種実施状況

5月12日(水)	184人
15日(土)	96人
19日(水)	245人
22日(土)	130人
合計	655人

} 前週より増加した分はキャンセル
待ちの人へ接種

・保健センターの接種実施状況

5月13日(木)	250人
16日(日)	270人
20日(木)	311人
23日(日)	305人
合計	1,136人

緑センターと保健センターの
接種合計は、1,791人

- ・保健センターへの送迎バスは1日10人以下の利用にとどまっているが、ココバスに案内を掲示し、利用増を目指していく。

（市長）

- ・ワクチンの廃棄が報道等でもあるが、小金井市では創意工夫により、無駄なく遂行してくれて感謝している。創意工夫はどんなことをやっているのか？

（コロナ担当課長）

- ・当初、1瓶のワクチンを薄めて5回接種分にしており、5の倍数しか設定できなかったが、接種数を増やせることが判明したため、接種前日から当日午前中まで、キャンセル待ちの方へ架電して無駄を防ぐようにしている。
- ・現在では6回分接種できることが分かったため、接種者を6の倍数にして対応している。

・5月22日(土)はワクチンの余剰が出たため、急遽、医療従事者への接種を行った。

(子ども家庭部長)

・ワクチンの余剰が出た場合、学校の先生や保育士等への接種は検討しているか？

(コロナ担当課長)

・市議会の会派からも学校や児童福祉施設へ優先的に接種できないか、と言われているが、現在は高齢者施設が優先となっており、児童福祉施設は一般フェーズになってから検討してまいりたい。

4 各部連絡事項

(総務部長)

・現時点では、本庁舎、第二庁舎ではコロナ陽性者は出ていない。

・管財課では消毒液等をストックしているため、引き続き、感染予防に努めていく。

(市民部長)

・5月17日からこがねい事業者特別支援金(市独自事業者向け支援)の募集を開始し、20件以上の申請があった。今後、商工会等にチラシを配布するため、今後申請の増加が見込まれる。7月まで募集していく。

(市長)

・これから風水害、台風シーズンに入ってくる。昨年、小金井公園周辺で停電が発生した。停電で恐ろしいのはディープフリーザーの電源供給であるため、東京電力武蔵野支社に対して停電対応について依頼済みである。

・風水害が起きた場合、コロナ禍における避難所開設も必要である。

(生涯学習部長)

・緊急事態宣言が再延長となれば、市の生涯学習施設も現状を延長と考えている。東京都の方針も示されていないが、示され次第、本部でも連絡していきたい。

(副市長)

・本市のワクチン接種が進んでいるとテレビ等でも報道されている。

・欧米ではワクチン接種が進展し、屋外ではマスクなしで談笑していることが報道されている。日本でも早くこのようになるよう、ワクチンチームを支えながら取り組んで参りたい。

・市内の新規感染者の年齢が分かるのであれば、ワクチン接種が進んだ高齢者の感染者がどの程度いるのか、ワクチン接種と新規陽性者の関連性を示すことができれば、分析や今後の対応に活用できればと思う。

(教育長)

・5月19日に70代の方が新型コロナウイルスに罹患されたが、それ以外は60代以上の感染者はゼロである。

・教育委員会としてはご尽力いただいている医師会、歯科医師会、薬剤師会に感謝を申し上げたい。

以上